学術事業報告

学発番号: 学13-027号

研修会名: 第14回京都CDEの会講習会 (チーム医療)

日時: 2013/8/11(日)13:15~16:45

場所: メルパルク京都

主題: もしあなたの患者さんが緊急搬送されたら
~低血糖対策をきちんと行っていますか~

副題1: 症例検討会:低血糖リスク管理を交えた療養指導

副題2: 重症低血糖のリスク因子から考える安全な糖尿病治療とは

講師2: 神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病・内分泌内科医長
岩倉 敏夫先生

参加数: 60名(会員:6名)

報告者: 青山 絹子(第二岡本総合病院)

以下、講演内容など

講師の先生に講義をして頂く前に、低血糖症例を2例提示して頂き、なぜこのような低血糖に陥ったのか、どのように指導すべきであったかをグループディスカッションしました。各施設での体験談も交えて活発に話し合いが行われ、情報交換ができました。2部の講演では、重症低血糖リスクから考えた安全な治療とは何かを講演して頂きました。重症低血糖の起こす危険性の高い患者として、SU剤やインスリン使用中、高齢者やHbA1cの低い患者、腎不全でSU剤使用があり、特に高齢者の繰り返す無自覚低血糖は認知症を引き起こす要因となります。目標設定は画一的に行うのではなく、患者の治療への取り組み姿勢、低血糖のリスク、年齢、血管合併症の有無を考慮した個別化した治療を行い低血糖を回避した治療が必要となります。そして、もし低血糖を起こした場合には速やかな対処ができるよう本人と家族への教育と理解が欠かせないことを学びました。